

代表取締役
川谷 真輝



理事長
佐藤 研一



東和スポーツ施設株式会社

京都市左京区北白川下池田町79-1
☎ 075-702-1177
<https://www.towa-sports.co.jp/>

プロフィール

1961年京都市生まれ。高校では硬式野球部に所属し、厳しい練習で忍耐力と精神力を養う。建設専門学校で土木・測量を学び、卒業後は体育施設専門会社で各種グラウンド整備に従事。1984年に東和スポーツ施設株式会社を設立し、2009年にはリサイクル土壌「エコクレイ」を開発。特許取得や産学連携を通じ、環境とスポーツの両立に貢献している。

バンブーペイブ協会

福岡県福岡市城南区七隈8丁目19番1号
福岡大学 工学部 社会デザイン工学科 道路土質研究室
☎ 092-871-6631 (内6464,6481)
<https://bamboo-pave.com/>

プラン名

京都らしい竹林景観の保全と 資源循環型舗装「竹チップ舗装」



出会いと協働が生んだ 京都発・竹チップ舗装で 古都の景観と環境を守る

第6回 コラボレーション部門 優秀賞 受賞

東和スポーツ施設(株) 川谷代表取締役
(以下、川谷) 1984年の設立以来、学校運動場等スポーツ施設の土系舗装を手掛けてきました。しかし、京都議定書の採択以降、環境規制の強化や意識の高まりを背景に、天然材料に依存した高品質な土の安定確保は厳しさを増しています。

そこで、環境負荷低減を目的に、リサイクル材を活用した土づくりに着手し、2011年に資源循環型グラウンド用土壌「エコクレイ」を開発しました。京都府や京都商工会議所から高く評価されるとともに、全国の展示会でも反響を呼び、今や多くのスポーツ施設で採用されています。そうした中、舗装材研究に取り組み佐藤理事長と出会い、現在はバンブーペイブ協会と連携し、京都市での取り組みを足掛かりに竹チップ舗装の普及を進めています。

バンブーペイブ協会 佐藤理事長(以下、佐藤) リサイクル材や廃棄物を活用した地盤改良の研究を進める中で、竹チップの混合により透水性や雑草抑制効果が高まることを見出し、また、ひび割れしにくく歩きやすいほか、暑熱対策やカーボンニュートラルへの

貢献も期待できます。これらを踏まえ、2023年に技術指導や品質管理を行う「バンブーペイブ協会」を設立しました。研究データに基づく信頼性と安全性が強みです。

川谷 竹チップは地産地消が可能で、放置竹林の活用により資源循環や里山保全にも貢献できます。今後は竹の伐採からチップ化までをより円滑に進めるため、行政やNPO法人等との連携をさらに深めていきます。舗装材の自然な色合いを生かし、京都らしい景観の維持と環境保全に貢献してまいります。そして、ここ京都から、竹チップ舗装を全国へ広め、放置竹林の課題解決を目指します。

佐藤 竹は茶道や工芸をはじめ、京都の文化や魅力と深く関わる素材です。また、京都は京都議定書が採択された地でもあり、SDGsや環境保護との結び付きが強いまちです。そうした地から竹チップ舗装を発信することには大きな意義があると考えています。

👑
ビジネスプランの詳細はこちら



竹チップ舗装の魅力や可能性を広く発信し、認知向上を図ります。あわせて、導入に関心を持つ企業や関係者との交流の場づくりや活用機会の創出を通じて、普及を後押しします。

京商の支援

